様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	スペースチャイナ外語学院
設置者名	学校法人　育学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	中国語速成科	夜・通信	810	80	
	中国語専門科	夜・通信	1620	160	
	中国語医療通訳科	夜・通信	2430	240	
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校のＨＰにて公表：
https://spacechina.ac.jp/report

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	スペースチャイナ外語学院
設置者名	学校法人育学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	中国語速成科	夜・通信	810	80	
	中国語専門科	夜・通信	1620	160	
	中国語医療通訳科	夜・通信	2430	240	
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校のＨＰにて公表：
https://spacechina.ac.jp/report

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	スペースチャイナ外語学院
設置者名	学校法人育学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

当校のＨＰにて公表：
https://spacechina.ac.jp/report

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学准教授	2021.4.1～2025.3.31	教育運営組織体制へのチェック
非常勤	会社役員	2021.4.1～2025.3.31	経営計画の策定
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	スペースチャイナ外語学院
設置者名	学校法人　育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画書（シラバス）作成　済 授業計画書（シラバス）公表　済	
授業計画書の公表方法	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

【試験】
各授業科目に、小テストや中間テスト、期末テストにて採点評価し、学習達成度を把握の上、単位付与。

【日記、小論文】
中国語を用いて写本、日記や小論文との形式で提出、添削、音読を通して、考える力、書く力、表現力を訓練している。

【発表】
海外研修や各種研修毎に、レポートまたは感想文の提出やＰＰＴを用いて、発表。

【スピーチの訓練】
より学習レベルを高め国際舞台への挑戦として、校内スピーチコンテストの開催により、意見を述べる事のできる人材育成を目指す。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

本校は、テスト以外に出席や提出物積極的に検定試験にチャレンジしている学生には、客観的且つ適切な評価を下記の通り実施している。

９０～１００点は　「秀」
８０～　８９点は　「優」
７０～　７９点は　「良」
５５～　６９点は　「可」
０　～　５４点は　「不可」

客観的な指標の算出方法の公表方法	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 建学の精神を踏まえ、次に掲げる能力を備えて地域社会の発展に貢献できる自立した人材を育成し、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生に対し、卒業証書を授与する。 １「中国語専門人材」としての知識・技術を修得し資格取得を目指すことができる。 ２ 職業人として通用する能力 企業や団体等の組織において職業人として必要とされる基本的な知識や能力を身につける。 ３ 専門的知識・技能を活用する能力 常に自身の専門的知識・技能を高めることに取り組み、実際の場面に応じてそれらを活用することができる。 ４ コミュニケーション能力 他者の意見や考え方を受け止め、理解するとともに、自分の意見や考え方をわかりやすく他者に伝えることができる。 ５ 情報収集・分析力 課題解決に向けた効果的な情報収集ができ、得られた情報の定量分析や定性分析を行うことができる。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	スペースチャイナ外語学院
設置者名	学校法人　育学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report
収支計算書又は損益計算書	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report
財産目録	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report
事業報告書	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report
監事による監査報告（書）	当校のＨＰにて公表： https://spacechina.ac.jp/report

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
8	文化・教養専門	中国語医療通訳科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	2430 単時間／152 単位	1545 時間 /103 単位	345 時間 /23 単位	240 時間 /8 単位	時間 /単位	300 時間 /18 単位
			2430 単時間／152 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
75 人	1 人	人	2 人	5 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）医療系に必要な語学力を深め、語彙力・読解力（分析力やまとめる力）を習得。また、医療会話のテキストにより、医療の現場で役に立つ基本的な会話力をつける。さらに、日本の医療保険制度や医療通訳の倫理を学び、医療従事者と外国人患者の間に立って言語によるコミュニケーションを支援する。

成績評価の基準・方法

（概要）筆記試験、ロールプレイング試験の他学習参加態度、小テスト、
医療機関研修、レポート提出、学期末テストを総合して評価する。

卒業・進級の認定基準

（概要）1. 医療系中国語の用語・用例の習得。（解剖学・病理学・薬学）
2. 医療機関に関しての基本的な会話ができ、中国語で表現する。
3. 厚生労働省が定める医療保険制度、医療通訳倫理の習得。
4. 中国語検定試験３級から２級の取得

学修支援等

（概要）1. 中国語検定試験の補習講座の開催
2. 中国語基礎文法補習講座の開催
3. HSK 対策講座の開催
4. スピーチコンテスト特別指導講座の開催

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">8</td><td>文化・教養専門</td><td colspan="2">中国語専門科</td><td>〇</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1620 時間／103 単位</td><td>1155 単位時間
/77 単位</td><td>315 時間
/21 単位</td><td>150 時間
/5 単位</td><td>時間
/単位</td><td>時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">1620 時間／103 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	3 人	0 人	2 人	5 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）中国語の基礎発音から文法、語彙力・読解力（分析力やまとめる力）を習得。日々の中国語日記による、書く力を養い、さらに長文読解やスピーチによる会話力とプレゼン力を習得。
成績評価の基準・方法
（概要）筆記試験、リスニング試験の他学習参加態度、小テスト、 レポート提出、学期末テストを総合して評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）1. 中国語の基礎から応用まで習得。 １年次には、中国語検定試験３級取得を目指す。 2. 各分野における基本的な会話ができ、中国語で表現する。 3. ジャンル別の中国語会話を習得し、実践力・現場力を高める。 4. 中国国立大学３年次への編入可能な HSK４級～５級取得、ビジネスレベルの中検２級の取得を目指す。
学修支援等
（概要）1. 中国語検定試験の補習講座の開催 2. 中国語基礎文法補習講座の開催 3. HSK 対策講座の開催 4. スピーチコンテスト特別指導講座

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">8</td><td>文化・教養専門</td><td colspan="2">中国語速成科</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">１年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">810 時間／52 単位</td><td>615 時間
/41 単位</td><td>135 時間
/9 単位</td><td>60 時間
/2 単位</td><td>時間
/単位</td><td>時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">810 時間／52 単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）中国語の基礎発音から文法、語彙力・読解力（分析力やまとめる力）を習得。日々の中国語日記による、書く力を養い、さらに長文読解やスピーチによる会話力とプレゼン力を習得。
成績評価の基準・方法
（概要）筆記試験、リスニング試験の他学習参加態度、小テスト、 レポート提出、学期末テストを総合して評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）1. 中国語の基礎から応用まで習得。 １年次には、中国語検定試験３級取得を目指す。 2. 各分野における基本的な会話ができ、中国語で表現する。 3. ジャンル別の中国語会話を習得し、実践力・現場力を高める。
学修支援等
（概要）1. 中国語検定試験の補習講座の開催 2. 中国語基礎文法補習講座の開催 3. HSK 対策講座の開催 4. スピーチコンテスト特別指導講座

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 （100%）	0 人 （%）	2 人 （100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等） 教育、観光業			
（就職指導内容） 企業による説明会の実施、合同企業説明会への参加、企業見学			
（主な学修成果（資格・検定等）） HSK（漢語水平考試）５級 医療通訳技能認定試験（第 1 次試験）			
（備考）（任意記載事項） 中国国立大学　黒竜江大学への３年次編入１名は 2022 年 3 月に卒業し、学位授与を受けた。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
中国語速成科	100,000 円	650,000 円	320,000 円	
中国語専門科	100,000 円	650,000 円	320,000 円	
中国語医療通訳科	150,000 円	750,000 円	370,000 円	
	円	円	円	

修学支援（任意記載事項）

①　ＡＯ選考入学　　②学校推薦入学　　③早割特典入学
④ファミリー割　　⑤遠隔地割

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当校のＨＰにて公表：
https://spacechina.ac.jp/report

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

実施方法：定期的に評価委会議を開催し、本校の取り組みについて議論をして、評議員の意見を採用し、学校の運営改善につなげる。
実施体制：外部教育機関及び企業等から 13 名の体制で構成された評価委員会にて実施。
教育課程：主に教育関係委員から、実用性の課程設置や社会及び求人企業の観点から評価を行う。
進路指導：大学 3 年次編入希望者のため、大学の開拓における助言及び評価。
就職希望者のため、地元企業との連携についての助言及び評価。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
元大学教授	4 年	教育関係委員
大学准教授	4 年	教育関係委員
元大学教員	4 年	教育関係委員

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当校のＨＰにて公表：
https://spacechina.ac.jp/report

第三者による学校評価（任意記載事項）

・新型コロナウイルスの予防に伴い、Web 授業の取り組みが速かった。
・Web 授業は、動画のみならず、ライブ授業を行っているところを高く評価する。
・遠隔授業でも、宿題の添削はしっかりしているところを高く評価する。
・校内における新型コロナウイルスの予防ガイドライン作成の取り組みを高く評価す

る。
・就学支援新制度の説明会の開催や、実際申請する際に、学生への PC 入力指導等のサポートが高く評価する。
・教育熱心
・資格取得にアドバイスと力を入れている。
・ここでしか学べないことがいっぱいある。
・子ども達に、価値観と世界観をもたらしている。
・担当先生が親身になって、進路や各種相談に乗ってくれる。
・就学支援の特別講座を設けてくれて、ありがたい。
・医療通訳者育成講座の開講は地域社会への貢献につながり、働きながら学びたい人にも学習する機会の提供になっていることから継続して開講することは大変意義のある取組であると評価している。

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
当校のＨＰ：
https://spacechina.ac.jp/report